

所属名	事務事業名	ページ番号
都市政策課	道路政策調整提案事務	2
都市政策課	治水政策調整提案事務	3
都市政策課	嘉瀬川ダム水没地内環境保全事業	4
都市政策課	空き家等対策事業	5
都市政策課	都市計画情報整備事業	6

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	道路政策調整提案事務	事業期間	平成 11 ~ 年度
担当部署・係名	都市政策課 政策総務係	担当課長名	堤 雅文
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	道路ネットワークの充実	
	基本事業	基幹交通網の整備による円滑な移動の確保	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	主要国県道の整備促進を図るため、関係市町が一体となって、事業主体（国・県）に対して地域の実情を訴えけるとともに、必要な事業等についての提案を行う。 提案等については、関係市町を会員とした期成会等の組織により行う。その期成会等の組織については、佐賀市が会長となり事務局をしているものが5団体、それ以外（会員等）については10団体ある。				
事業の対象者	道路利用者				
令和3年度主な活動実績	事業主体（国・県）に対する佐賀地区建設関係合同期成会や九州国道協会等による提案活動の開催 ①国交省、財務省への提案 8件 ②各種団体による提案活動、各種大会への参加 8件 ③佐賀地区建設関係合同期成会総会及び幹事会の開催 2件				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,465	2,493			
うち佐賀市の負担額	2,465	2,493			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
道路事業促進に関する提案項目の達成率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
65	65 65	65	67	70		

年度	目標 (%)	実績 (%)
R2	-	65
R3	65	65
R4	65	-
R5	67	67
R6	70	70

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	道路事業促進に関する提案項目の対象事業（国、県）については、国及び県において概ね予定通り整備が進められている。



成果目標達成に向けた対応策等
事業主体である国及び県に対し、提案活動等を通じて、事業の促進を強く訴えていく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	治水政策調整提案事務	事業期間	平成 11 ~ 年度
担当部署・係名	都市政策課 政策総務係	担当課長名	堤 雅文
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	安全で美しい河川環境の適切な管理	
	基本事業	治水対策等の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	国又は県管轄の河川の整備促進を図るため、関係市町と一体となって、事業主体（国・県）に対して地域の実情を訴えるとともに、必要な事業等についての提案を行う。 提案等については、関係市町を会員とした期成会等の組織により行う。その期成会等の組織については、佐賀市が会長となり事務局をしているものが4団体、それ以外（会員等）については8団体ある。				
事業の対象者	河川流域住民・企業等				
令和3年度主な活動実績	事業主体（国・県）に対する佐賀地区建設関係合同期成会や九州治水期成同盟連合会等による提案活動の開催 ①国交省、財務省への提案 8件 ②各種団体による提案活動、各種大会への参加 5件 ③佐賀地区建設関係合同期成会総会及び幹事会の開催 2件				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,523	2,040			
うち佐賀市の負担額	2,523	2,040			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
治水利水事業促進に関する提案項目の達成率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
64	64 64	64	64	64		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	治水事業促進に関する提案項目の対象事業（国、県）については、国及び県において概ね予定通り整備が進められている。



成果目標達成に向けた対応策等
事業主体である国及び県に対し、提案活動等を通じて、事業の促進を強く訴えていく。

令和4年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	嘉瀬川ダム水没地内環境保全事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	富士支所 総務・地域振興グループ	担当課長名	富士支所長 大中 陽一
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	08安全で美しい河川環境の適切な管理	
	基本事業	治水対策等の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	幹線道路沿線の除草作業等により荒廃の抑制を図るため、富士町内の関係区、団体等に業務委託をしている。本体工事区域内に点在する無縁墓地の改葬業務については、平成19年度で完了している。嘉瀬川ダムは平成23年度に完成しているが、水没地内の環境保全を引き続き行っていく。				
事業の対象者	嘉瀬川ダム周辺の市民・団体				
根拠法令等					
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	10,398	10,450			
うち佐賀市の負担額	0	0			

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
延面積					m ²
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
156,650	156,700				

活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

ダム水没地内を地元地域の手によって良好な状態で維持管理を行うことは、ダム事業の目的に対する地域の理解を促し、災害に対する備えと防災意識の向上につながるため、引き続き、活動量を維持しながら水没地内の環境保全に努め、荒廃防止の為の対策を実施する。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	空き家等対策事業	事業期間	平成 25 ~ 年度
担当部署・係名	都市政策課 空き家対策室	担当課長名	堤 雅文
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	暮らしに身近な生活環境の向上	
	基本事業	生活に密着した環境問題の改善	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	空き家等の適正な管理を図ることにより、空き家の倒壊並びに空き家等における火災及び犯罪を未然に防止し、もって市民の安全で安心な暮らしの実現及び良好な生活環境の保全に寄与する。				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	○苦情相談を受けた危険な空き家等について、現地調査及び所有者調査を実施し、所有者（管理者）に適正管理を促す。 ○危険な状態が切迫した空き家等に対する、網掛けや一部撤去等の緊急安全措置工事を実施する。 ○危険な状態の空き家に対して50万円を限度に除却費の一部を助成。 ○空き家等情報登録制度の実施。 ○空き家無料相談会（年/2回）の実施。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	11,937	10,915			
うち佐賀市の負担額	11,937	10,915			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
苦情対応件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
409	300 369	300	300	300		

成果指標②						単位
空き家解体費助成件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
11	14 12	15	15	15		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	空き家の苦情対応件数は、令和2年度よりも減少したものの、依然として空き家件数の増加や台風・大雨被害の影響により目標値を上回る結果となった。 空き家解体費助成件数は、目標値を上回る申請があり、目標値の件数（上限値）で処理を進めていたが、急遽、申請者都合による申請辞退が2件あったため、実績値が目標値を下回る結果となった。



成果目標達成に向けた対応策等
空き家対策事業においては、危険な空き家の是正措置等だけでなく、空き家の発生防止や有効活用が重要となるため、対策計画に基づき関係部署や業界団体等との連携を図り事業を進めたい。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	都市計画情報整備事業	事業期間	令和 3 ~ 年度
担当部署・係名	都市政策課 都市計画係	担当課長名	堤 雅文
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	計画的な土地利用の推進	
	基本事業	土地の有効利用の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民への都市計画に関する知識の普及及び情報提供に寄与するため。				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	最新の地形図をベースとした用途地域等の都市計画データを整備し、ホームページ上で市民向けに公開。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	-	3,096			
うち佐賀市の負担額	-	3,096			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
ぐるっとさがナビ（都市計画マップ）のアクセス件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	26,712	26,800	26,800	27,000		

成果指標②						単位
						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和3年度が基準値となるため、令和4年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
市民向けGIS「ぐるっとさがナビ」の利用者の増加を促進し、都市計画に関する知識の普及及び情報提供を行っていく。